

日本労働年鑑 第28集 1956年版
The Labour Year Book of Japan 1956

第一部 労働者状態

第三編 労働条件

第一章 賃金

第二節 賃金の産業別・規模別・地域別格差

賃金の産業別格差の歴年推移においてもっとも特徴的なことは、製造業を一〇〇として運輸通信業が五三年には一一六・五であったのが、一二一・〇と増加し、それと反対に鉱業が一一九・九から一〇七・七と大巾に減少したことである。鉱業は四七年には一四四・四を示していたのであるから、他産業にくらべて賃金の低落がはなはだしいといえるであろう。これは主として石炭産業が深刻な恐慌におそわれたことの反映である。

賃金の産業別格差を第85表によってみると総数を一〇〇として指数がもっとも高いのはその他の公益事業(一四二・〇)であり、逆にもっとも低いのは衣服身廻品製造業(四六・九)である。前年が一四一・五と四七・三であったのにくらべると、産業別の最低最高格差はひらいてきているといつてよいであろう。

前年に比較して格差がかなり大きく縮小している産業は電気機械器具製造業(五・六%)、機械製造業(四・五%)、鉱業(四・四%)紙及び類似品製造業(三・二%)、ゴム製品製造業(二・八%)、金属製品製造業(二・四%)などでありこれらの産業が依然として深刻な不況の状態にあることを物語っている。格差が拡大している産業は通信業(七・九%)、石油及び石炭製品製造業(七・七%)、総合工事業(三・九%)、食料品製造業(三・三%)などであり、これらの産業が比較的好調であったことがわかる。このように五四年度はいわゆる日の当る産業と当らない産業との賃金のひらきがめだっているといつてよい。

産業別にみて賃金が相変わらず低いのは衣服及び身廻り品製造業(四六・九)、紡織業(五七・一)、木材及び木製品製造業(五九・八)、家具及び装備品製造業(六六・一)などであり、高いものはその他の公益事業(一四二・〇)、金融及び保険業(一三五・〇)、第一次金属製造業(一二二・三)、紙及び類似品製造業(一一九・二)などである。

つぎに賃金の規模別格差を第86表によってみると、五〇〇人以上の規模の賃金を一〇〇とすると、一〇〇人から四九九人までの企業はまず総数では八七・四から八八・〇、鉱業では八一・三から八二・六といくらか縮小しており、ただ製造業だけが七九・三から七七・六と格差が拡大している。三〇人から九九人までの企業では、総数において七四・〇から七四・六、鉱業では六二・二から六四・二、また製造業でも五九・八から五九・九といずれも格差がやや縮小している。このように一般的にいつて大企業と中小企業との賃金格差が縮小傾向にあるのは、中小企業の賃金がよくなってきたというよりもむしろ大企業の賃金が頭うちしてきたことのあらわれである。

なお別の統計(第87表)から製造業の規模別賃金格差の推移をみても、五四年度においては五〇〇人以上を一〇〇としてそれ以下のいずれの規模においても格差は縮少をみせている。

規模別の名目賃金の推移を第88・89表によってみると、前年と同様に鉱業、製造業とも五〇〇人以上の大企業は各月の賃金の増減がはなはだしく、とくに七、八、一二月は、他の月よりもはかに高くなっている。

一〇〇人～四九九人への規模の企業になると、各月の増減の差額は少くなり三〇人～九九人の中小規模の企業になると、一二月をのぞいては各月ともほとんど安定した状態を示している。これは企業の規模が小さくなればなるほど夏季や年末の一時金の支給が少いためであろう。

賃金の地域別格差(第90表)は、東京を一〇〇として鉱業で賃金が高いのは北海道(五三・六)、岐阜(五二・六)、鹿児島(四七・九)などである。北海道が高いのは賃金の比較的高い大炭鉱が多いためであろう。賃金が高い地域は、愛知(二六・一)、熊本(三一・九)、山形(三〇・五)、茨城(三九・三)などであり、最高最低の格差は四倍に及んでいる。製造業で賃金が高いのは神奈川(一一二・九)、福岡(一一一・一)、北海道(一〇〇・八)などであるが、神奈川、福岡が高いのはこの地域に大企業が密集しているためであり、また北海道が比較的高いのは薪炭代の影響があることと思われる。賃金が高い地域は山梨(四一・六)、鳥取(四五・二)、福井(四七・九)、山形(五二・七)などであるが、これらの地域はほとんど中小企業が多いことにもとづくものであろう。

日本労働年鑑 第28集 1956年版

発行 1955年11月20日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2002年3月5日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1956年版(第28集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
